

今月のトピックス

石油ストーブによる事故にご注意ください！

今冬も昨年に続く節電指向によって、石油ストーブを使用する機会が増加すると予想されますが、節電指向の高まりとともに石油ストーブによる事故が増加しています。

(独)製品評価技術基盤機構に寄せられた石油ストーブによる事故は、平成19年度から23年度までの5年間に515件あり、このうち死亡72件、重症20件など、被害が重大な事故も報告されています。また、火災を伴った事故は345件ありました。

事故原因では、誤使用、不注意等使い方に関連する事故が半数以上を占めていることから、石油ストーブによる事故を未然に防止するためには、製品を正しく安全に使用することが重要です。下記の注意事項及び次のページを参考にし、石油ストーブを使用する際は十分にご注意ください。

NITE((独)製品評価技術基盤機構) <http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12101801.html>

◆ 事故事例

- カートリッジタンクのふたの締め方が不完全で、漏れた灯油に引火した。
- 洗濯物等の乾燥に使用し、洗濯物等が落下等して着火した。
- 燃烧筒のセットが不完全で、異常燃焼して炎が燃烧筒からあふれて出火した。

◆ 石油ストーブを使用する際の注意点

- 給油する際は、完全に火が消えたことを確認してから行う。
- 製品の取扱説明書を参照し、カートリッジタンクのふたが完全に閉まっていることを確認する。
- 給油の際に灯油をこぼした場合には、十分にふき取る。
- ストーブの上に洗濯物を干さない、布団、カーテン、新聞紙等の可燃物をストーブの近くに置かない。
- 燃烧筒が正しくセットされていないと、異常燃焼した炎が燃烧筒からあふれ火災の原因となるため、マッチやライターを使用して点火する場合は燃烧筒が正しくセットされていることを確認する。
- 消費生活用製品安全法に規定されたPSCマークがついた製品を使用する。
(PSCマーク…同法に基づく安全性等の基準の適合性を検査した製品に付すことができるマーク)

なべの取り扱いに注意しましょう

なべに関する事故として以下のような事例が報告されていますので、ご注意ください。

【事例1】片手なべの取っ手が折れ、内容物がかかって足の甲にやけどを負った。

→ フェノール樹脂製の取っ手の劣化、取っ手及び取っ手取付け金具周辺に高温で加熱したことによる変色が認められたことから、なべの側面にかかるほどの大きな炎で、長時間あるいは長期間にわたり使用を続けたため、取っ手が脆化し亀裂が生じ、持ち上げた際に折れたもの推定されます。

【事例2】蒸し器をガスコンロにかけて加熱していたところ、突然ガラス製のふたが粉々に割れた。

→ 強化ガラス製なべふたのステンレス枠の一部に過加熱による変色が認められたことから、なべふたに直接炎が当たる使用をしたことでガラス表面にクラックが生じ、その後の使用等で破損に至ったものと推定されます。

フェノール樹脂や強化ガラスは熱には強いですが、直火にさらすと脆化やクラックが生じて突然破損することがありますので、使用するときは直接火があたらないように注意してください。

NITE((独)製品評価技術基盤機構) http://www.nite.go.jp/jiko/psm/psm_vol178_121010.html

◇ 平成24年9月の重大製品事故公表情報については、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話 : 026-223-6770

ホームページ : <http://www.nagano-shohi.net/seihin-anzen/>

石油ストーブでの火災

事故の概要

【事例①】住宅がほぼ全焼し、1人が軽傷を負った。

【事例②】近辺の複数の住宅が全半焼し、1人がやけどを負った。

【事例③】住宅が全焼し、1人が死亡、1人が軽傷を負った。

事故の原因

【事例①】石油ストーブを消火せずに給油した際、タンクの口金が確実に締まっていなかったために灯油がこぼれて引火したものです。

【事例②】石油ストーブの上部に干していた洗濯物がストーブの上に落下したものです。

【事例③】石油ストーブにガソリンを灯油と間違えて給油したため、異常燃焼を起こしたものです。

【再現実験】



タンクから漏れた灯油が引火しました



上部に干した洗濯物に引火しました



ガソリンを使用すると発火しました



事故防止のために

◆給油の際は、必ず火を消してください。また、給油タンクの口金がしっかりと締まっているか確認してください。

◆ストーブの上部などで洗濯物を干さないでください。また、カーテンやふとんなど燃えやすいものの近くで使用しないでください。

◆間違えてガソリンを入れないでください。

◆換気を必ず行ってください。不完全燃焼によりCO中毒を起こし、死亡に至る可能性があります。

